桐生AIR（エアー）

Artist - In - Residence Program in Kiryu（アーティスト　イン　レジデンス　プログラム　イン　キリュウ）

東京藝術大学の学生たちが市内に滞在し、歴史的な街並みや文化資源を題材に、アートを通じてまちの新たな魅力を発信する芸術祭「桐生AIR」を開催します。
詳しくは東京藝大油画ＨＰ（右の二次元コード）をご覧ください。
問スポーツ・文化振興課文化振興担当（☎32 － 3726）

期間　11月13日（金）～12月６日（日）
※会期中の木曜日～日曜日および祝日のみ開廊
※木曜日はツアー形式（有鄰館「塩蔵」午後１時出発のみの限定公開）

時間　午前10時～午後６時

場所　有鄰館、旧書上文左衛門邸　土蔵・平屋、旧曽我織物工場、前原倉庫、旧上野織物、shop&gallery象（ショップアンドギャラリーかたち）、旧神成染色工場

桐生AIRとは

東京藝術大学油画専攻第２・第５研究室では、令和５年から桐生新町重要伝統的建造物群保存地区などでフィールドサーベイ（実地調査）を行い、自然・産業・社会・儀礼・景観などについて学生たちが目で見、耳で聞き、体感したありのままの姿を、写生だけでなく映像や身体表現などさまざまな観察手法を開発しながら作品化する滞在制作型のプロジェクトを継続しており、令和６年からは桐生市と連携し「REAL TIME IN KIRYU（リアル　タイム　イン　キリュウ）」という展覧会でその成果を発表してきました。

桐生AIRは、このプロジェクトのさらなる発展を目指して始動した新たな取り組みです。

山地に囲まれた扇状地に機織りの音を響かせてきた桐生は、坂口安吾（あんご）が晩年の創作の地とするなど古くから多くの芸術家が住み着き、石内都、高橋盾（じゅん）、山口晃など各界のトップクリエイターを輩出してきました。東京藝大が桐生市と開催する桐生AIRは、この芸術家を惹（ひ）きつけ、生み出す桐生の不思議な磁力に着目。江戸期から続く製織町の歴史的景観に若手芸術家を招き、その滞在制作の成果をノコギリ屋根工場跡や赤煉瓦（れんが）倉庫などの近代遺産で展示公開します。

こんにちは市長です

桐生AIRを開催

桐生AIRが、11月13日（金）から開催されます。

東京藝術大学の皆様とは、令和６年度から「REAL TIME IN KIRYU」という展覧会を実施してきましたが、令和８年度は規模を拡大し、新たに「桐生AIR」としての実施となります。

今年度の桐生AIRは、東京藝大、ぐんま未来大学短期大学部に加え、ファッション専門学校であるcocono gacco（ここのがっこう）や、日本の繊維産業を学ぶための民間スクール・産地の学校の皆様にもご参加いただきます。

織物の町として栄えた桐生市と、この町で育まれてきた歴史・文化・伝統が、彼らの目にどう映り、また、どう表現されるのか。彼らの生み出すものに非常に注目しています。

私たちの感性が刺激され、桐生市に新たな風が吹き込む取り組みとなることを期待しています。

桐生市長　荒木　恵司